

# 説 明 文 書

要指導医薬品

使用前には必ず添付文書を読んでください

1	名称	ギュラック									
2	成分・分量	<table border="0"> <tr> <td>1日量（3錠）中</td> <td>成分</td> <td>分量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリカルボフィルカルシウム</td> <td>1500mg</td> </tr> </table>	1日量（3錠）中	成分	分量		ポリカルボフィルカルシウム	1500mg			
1日量（3錠）中	成分	分量									
	ポリカルボフィルカルシウム	1500mg									
3	用法・用量	<p>次の量を食後に水で服用してください</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>1回量</th> <th>服用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人（15才以上）</td> <td>1錠</td> <td>1日3回</td> </tr> <tr> <td>15才未満及び75才以上</td> <td colspan="2">×服用しないこと</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)定められた用法・用量を厳守すること                  (2)コップ1杯（約180mL）の水とともに服用すること                  （水と服用しないと、服用時にのどや食道で、つかえる可能性がある）                  (3)錠剤を分割又は砕いて服用したり、ゼリーやとろみ剤などの服薬補助剤とともに服用しないこと（服用時にのどや食道で膨張して、つかえる可能性がある）                  (4)錠剤・カプセル状の健康食品などと同時に服用しないこと                  （のどや食道で、つかえる可能性がある）                  (5)症状の改善がみられても、服用は最大4週間までとすること</p>	年齢	1回量	服用回数	大人（15才以上）	1錠	1日3回	15才未満及び75才以上	×服用しないこと	
年齢	1回量	服用回数									
大人（15才以上）	1錠	1日3回									
15才未満及び75才以上	×服用しないこと										
4	効能・効果	過敏性腸症候群の次の諸症状の緩和：腹痛又は腹部不快感を伴い、繰り返し又は交互に現れる下痢及び便秘（以前に医師の診断・治療を受けた人に限る。）									
5	保健衛生上の危害を防止するために必要な事項	<p><b>■してはいけないこと</b>                  （守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）</p> <p><b>1. 次の人は服用しないこと</b></p> <p>(1) 医師から過敏性腸症候群の診断・治療を受けたことがない人                  (2) 過敏性腸症候群の再発かどうかよくわからない人                  （例えば、今回の症状は、以前に過敏性腸症候群の診断・治療を受けた時と違う）                  (3) 次の症状がある人                  ●就寝中などの夜間にも、排便のためにトイレに行きたくなったり、腹痛がある                  ●発熱がある ●関節痛がある ●粘血便（下血）がある ●繰り返すひどい下痢がある                  ●急性の激しい下痢がある ●排便によってよくなる腹痛がある ●嘔吐がある                  ●6ヶ月以内に、3kg以上の予期せぬ体重減少</p> <p>(4) 次の病気にかかったことのある人                  大腸がん、炎症性腸疾患（クローン病、潰瘍性大腸炎等）</p> <p>(5) 腹部の開腹手術を受けたことがある人で、次の症状を起こしている人（胃腸閉塞を引き起こす可能性がある）                  激しい腹痛、ガス排出（おなら）の停止、腹部膨満感を伴う著しい便秘（胃腸閉塞様症状）</p> <p>(6) 次の治療を受けている人                  急性腹部疾患（虫垂炎、腸出血、潰瘍性結腸炎等）、高カルシウム血症、腎結石、腎不全（透析中を除く）</p> <p>(7) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人                  (8) 嚥下が困難な人（食べ物などが飲み込みにくいと感じている人）                  (9) 15才未満の小児及び75才以上の高齢者</p>									

		<p><b>2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと</b>  過敏性腸症候群（IBS）の症状改善薬（トリメブチンマレイン酸塩等）、活性型ビタミンD製剤（アルファカルシドール等）、カルシウム剤（乳酸カルシウム等）、強心配糖体（ジゴキシン等）、抗生物質（テトラサイクリン、ノルフロキサシン等）、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール等）、H<sub>2</sub>ブロッカー（ファモチジン、ラニチジン等）、制酸剤（水酸化アルミニウムゲル、水酸化マグネシウム等）を含有する医薬品</p> <p><b>3. <u>長期連用しないこと</u></b></p> <p><b>■相談すること</b></p> <p><b>1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること</b></p> <p>(1) 医師の治療を受けている人  (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人  (3) 50才以上の人  (4) 貧血がある人  (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人  (6) 次の診断を受けた人  糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能亢進症  (7) 高カルシウム血症のあらわれやすい人（ビタミンD過剰症等）  (8) 胃酸の分泌が欠乏又は減少、もしくはそれらの疑いのある人  (9) 大腸がん、炎症性腸疾患の家族がいる人  (10) 腹痛、便秘がひどい人  (11) 透析を受けている人</p>
6	薬剤師が必要と判断する事項	

〔注意事項〕

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に、役立たせるために必要な情報です。
2. 法令により、要指導医薬品は必ず、第一類医薬品は薬剤師が不要と判断した場合を除いて、情報提供を行います。
3. 使用後、体調に変化等があった場合（副作用など）には使用を中止し、すぐに購入された店舗の薬剤師にご相談下さい。